

これからの生活困窮者支援を 考えるシンポジウム

「自立支援を必要とする人」とつながる?

生活困窮者自立支援法は、平成27年4月に施行され、3年目を迎えました。その実施はまだ緒についたばかりであり、さらに広がりのある取組に向けて着実に進んでいく必要があります。この制度では、官民が協働して地域の支援体制を構築し、支援を必要とする人の自立に向けて、包括的な事業を実施することとなっています。そのために、島根県でも、各自治体で、地域資源の開発や様々な地域資源の“連携”を探る取り組みが始まっています。これに合わせ、住民・自治体・企業・関係機関等の様々な立場で、山陰地域における経済的・社会的な生活困窮者支援を考えるのが今回のシンポジウムです。

《日時》 **2018年1月27日(土)** 13:00～16:00
 入場無料・申込不要

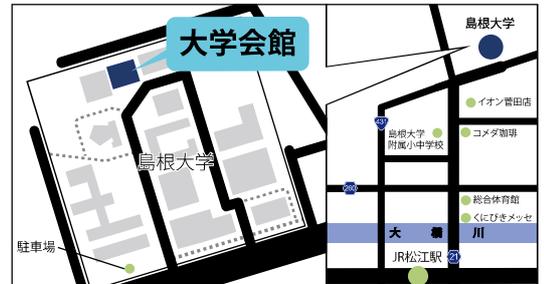
《会場》 **島根大学松江キャンパス 大学会館3階大集会室**

- I部 基調講演** 「誰もが活躍できる藤里方式」 菊池 まゆみ 氏(秋田県藤里町社会福祉協議会)
- II部 基調説明** 「データでみる島根の生活困窮者支援」 半場 祐子 氏(島根県健康福祉部地域福祉課)
- III部 島根県の取り組み報告 “つながる”の事例・実践紹介**
 - 「松江市暮らし相談支援センターの取組みからみてきたもの」 諏訪 方宣 氏(松江市社会福祉協議会生活支援課)
 - 「一人ひとりを大切に思うこと ～こころの居場所『ぷらっと』～」 吾郷 由美子 氏(飯南町社会福祉協議会地域福祉課)
 - 「島根県における生活困窮の実態と地域支援の視点」 加川 充浩 氏(島根大学人間科学部)

IV部 意見交換

《主催》島根大学戦略的研究推進センター萌芽研究プロジェクト「山陰地域の生活課題解決に向けたアプローチ方法の探求と構築」
 《共催》島根大学法文学部山陰研究センター、島根大学地域未来戦略センター
 《後援》島根県、島根労働局、島根県社会福祉士会、島根経済同友会、山陰ケーブルビジョン

《周辺・学内マップ》



《問い合わせ先》
 島根大学法文学部山陰研究センター
 電話：0852-32-9833
 メール：admin-src@soc.shimane-u.ac.jp

<会場へのアクセス> JR松江駅から

バス	・北循環線内回り(のりば①)	北循環線内回り 15分	島根大学前	島根大学
	・島根大学・川津(のりば②)	島根大学・川津 20分		
車・タクシー		10分		

※バスはほかにも、「平成ニュータウン」「あじさい団地」(松江市営バス)、「美保関ターミナル」「マリンゲートしまね」(一畑バス)があります。いずれも松江駅バスターミナル 乗り場②です。
 ※お車でお越しの際は正面入り口前の守衛室で入構証を受け取り、指示に従って構内に駐車してください。会場付近の住民の皆様のご迷惑になりますので、路上駐車及び近隣店舗への無断駐車は固くお断り致します。